

宜野座村 宜野座区

集落部門

歴史を継承し育まれるふるさとづくり (平成29年度認定)



宜野座区は宜野座村の中央部に位置する集落で、道路沿いには商店や事業所、村役場等が集中した商業地を形成している。豊富な水源と肥沃な土壌という恵まれた自然環境により、農業を中心に発展を遂げた地域である。

豊年祭等の伝統行事や民俗行事の継承も盛んに行われており、旧暦の8月15日を中心に行われる豊年祭(八月あしび)は2005年(平成19年)に国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選定されている。その中で100年以上にわたり上演されてきた「宜野座の京太郎」は1985年(昭和60年)に沖縄県指定無形民俗文化財となっている。

また、伝統文化の継承に加えて、農道等の清掃や耕土流出防止のためのグリーンベルトの設置等による自然環境の保全を図るための活動や、年中行事である集落内清掃や子供たちの勉強の成果や習い事のお披露目を行う学習奨励会等が世代間のコミュニケーションの場となり、地域のつながりを深くしている。

このように、多面的機能の保全や伝統文化の継承等を通じた「ふるさとづくり」に取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



八月あしび(スーマチ)



八月あしび(松竹梅)



八月あしび組踊(伏山敵射)



農業後継者育成センターイチゴ狩り



農道清掃(多面的機能支払交付金)



土壌保全ベチバー植栽